

次世代クラウド・データセンタ事業者が考えたい シンプルデザインとオープンスタンダード のプラットフォーム

2015/2/3

 日商エレクトロニクス株式会社

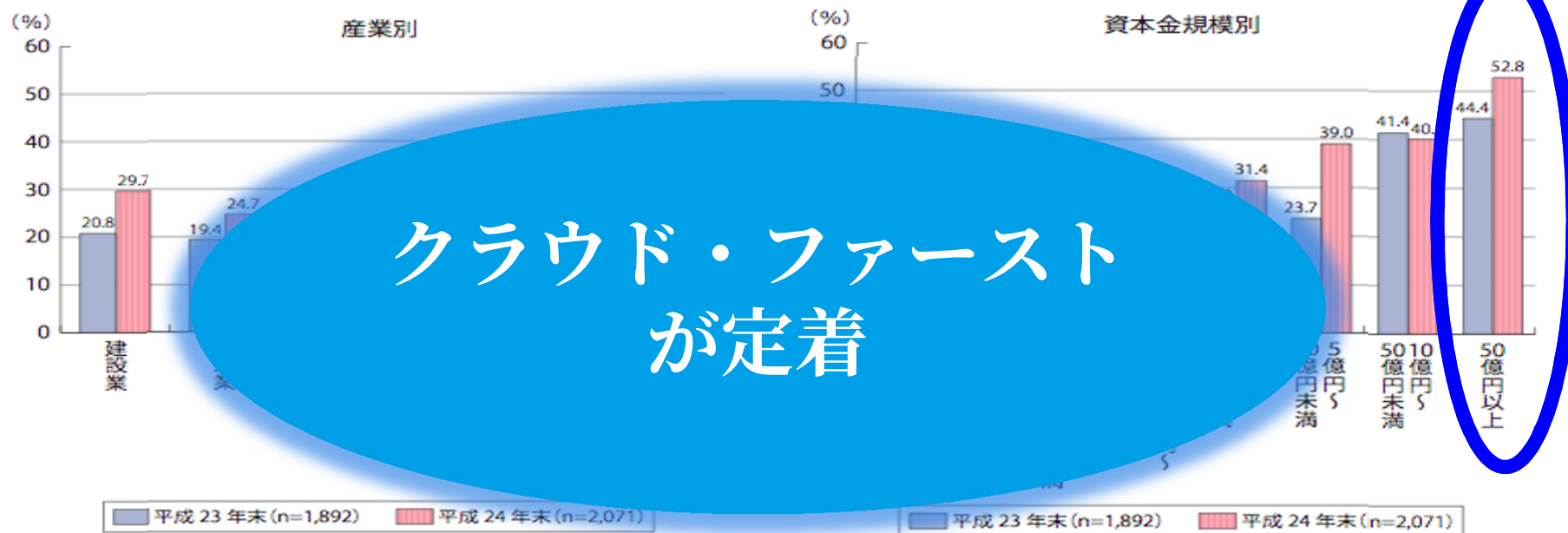
<http://nissho-ele.co.jp>

1. ハイブリッドクラウド需要への対応
2. 既存環境との共存、物理・仮想との共存への対応
3. OpenStackで大丈夫？

国内におけるクラウドサービスの利用状況

50%超

(資本金規模 50億円以上)



出典:総務省「平成24年通信利用動向調査」

第3のプラットフォーム





- ・あらゆるデバイス
- ・モバイルアプリケーション
- ・モノドポイント



- ・使用する場所
- ・生成される場所
- ・データ量増大

人が動く・データが動く

**人・データの流に関与する事で
ビジネスが生まれる**

**人・データの流れる要所（関所）
に位置するクラウド・DCとなる**

サービス・アプリケーションの魅力を最大化
できるクラウド・DCが求められる

業界特化・特徴のあるクラウドの個性が求められる

業界特化・個性のあるクラウド・DC（例）

- 医療系クラウド
- アプリ開発に適している（柔軟性が高い）
- 強固なセキュリティー対策（データ金庫）
- スーパーハイパフォーマンス（高帯域・4K・8K画像配信）

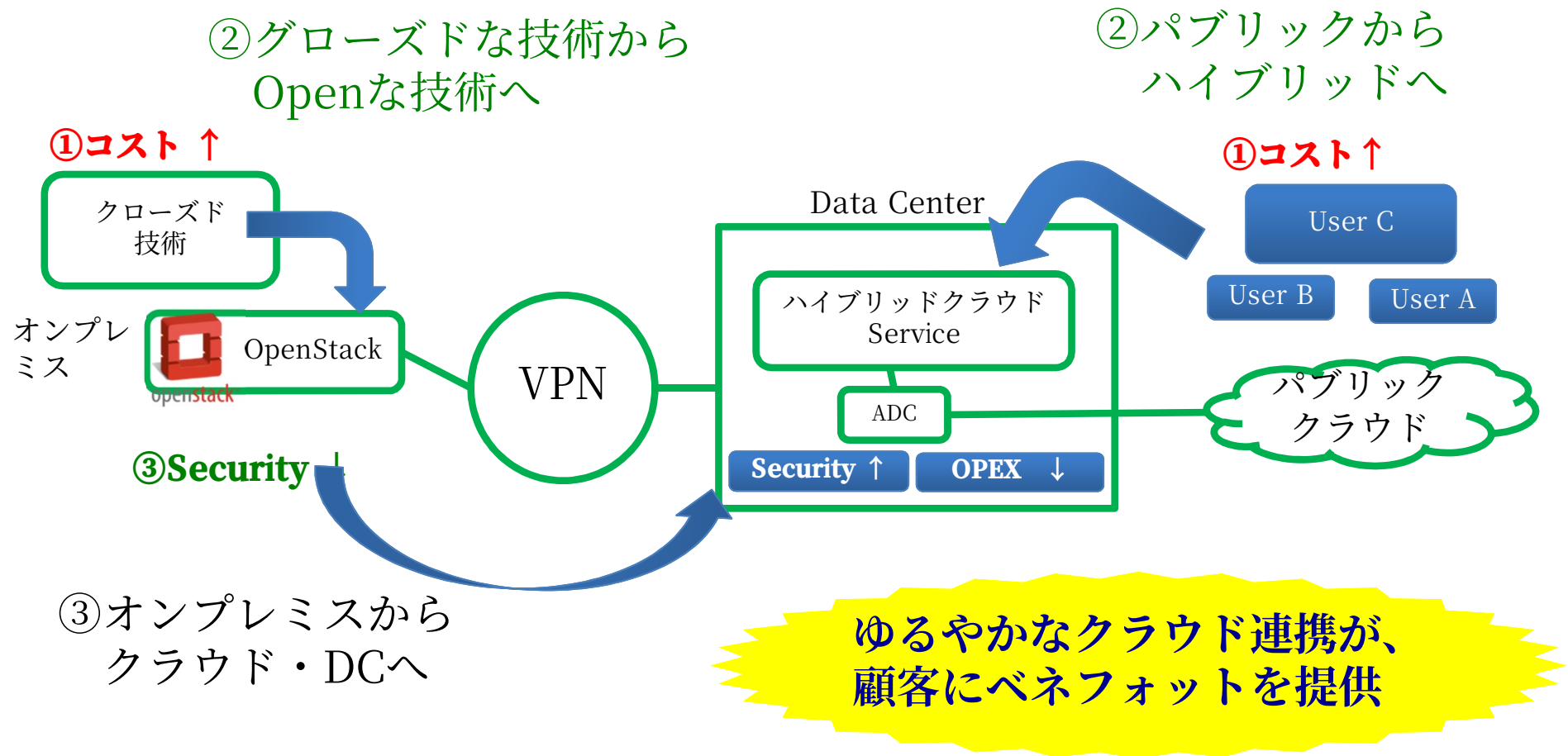
異なるクラウド・特化型クラウド連携するニーズ

オンプレミスクラウド

パブリッククラウド

どのようにハイブリッドするのか？

次世代クラウド・DCサービス



次世代クラウド・データセンタ事業者に求められる要件

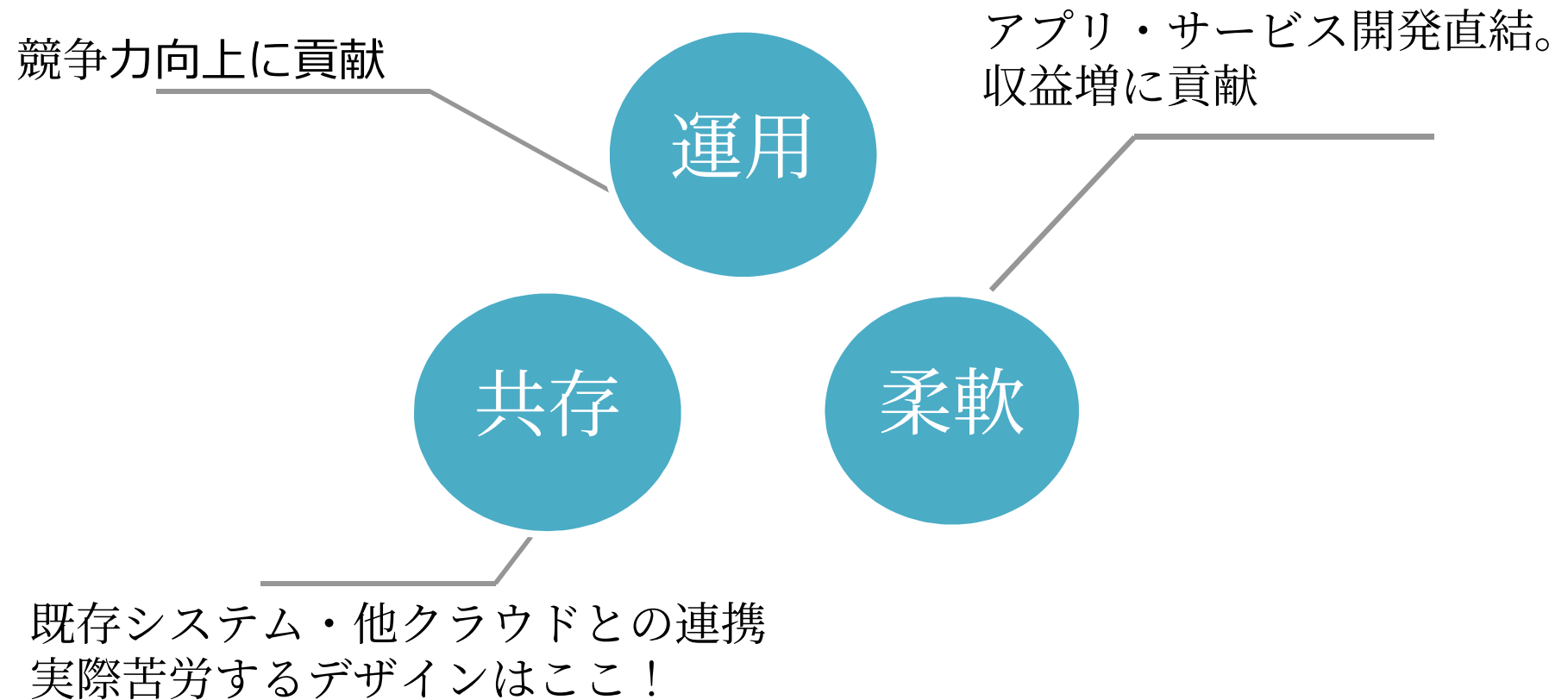


1.柔軟

2.共存・マイグレーション

3.運用

次世代クラウド・DCに欠かす事のできない3つの要件



OpenStackがコストが低くなるのは幻想
(今のところ・・・)

OpenStackはユーザー主導
(らしさ・・・)

OpenStackらしさは柔軟性



柔軟

アプリケーション視点でOpenStackは次世代のAPIのデファクトとなる。



共存

マイグレーション、運用視点

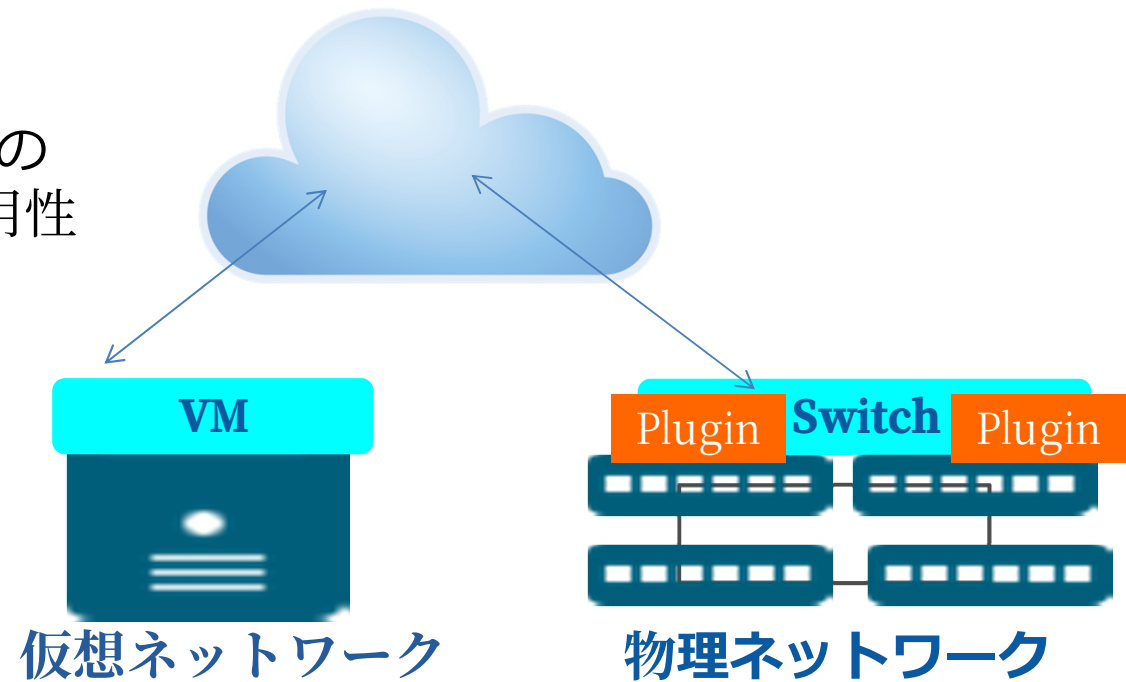
マルチベンダー環境

オープンスタンダード

OpenStack Neutron Modular Layer 2 (ML2) Plugin

OpenStack Neutron ML2 Plugin+

仮想環境と物理ネットワークの
共存がL2レベルででき、運用性
が向上する。



Dockerとかコンテナ技術の進歩で ベアメタルの魅力も増加



運用

- 共通オペレーション
- 迅速なサービス展開に対応するインフラ

シンプルデザイン

Fabricによるシンプルで自由度の高い ネットワーク設計

新たな業界特化型クラウド・DCサービスの提供を可能にするインフラ

STEP1: シンプルで自由度の高いネットワーク設計

STEP2: 既存環境との共存・マイグレーション

STEP3: 新たなアプリケーションに柔軟に対応できる



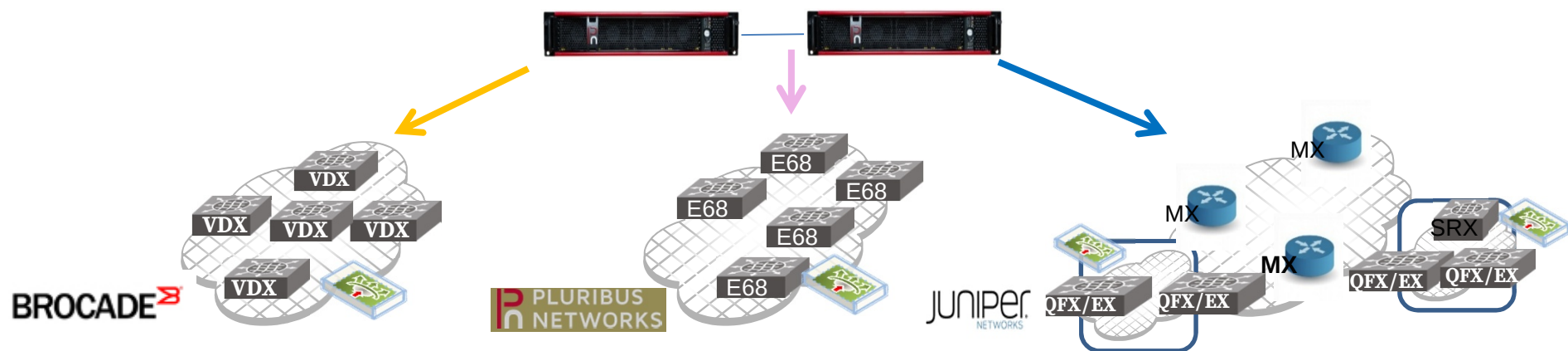
BROCADE

PLURIBUS
NETWORKS

JUNIPER
NETWORKS

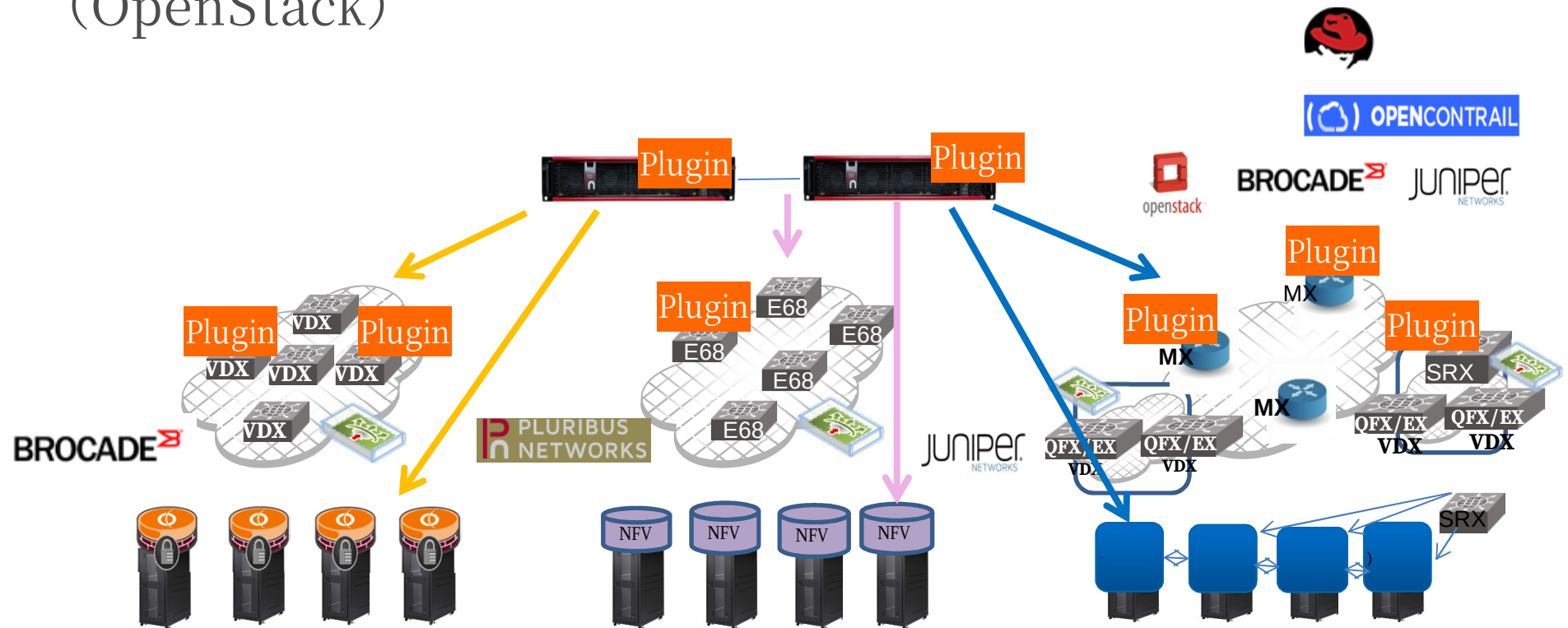
NISSHO ELECTRONICS

シンプルデザイン



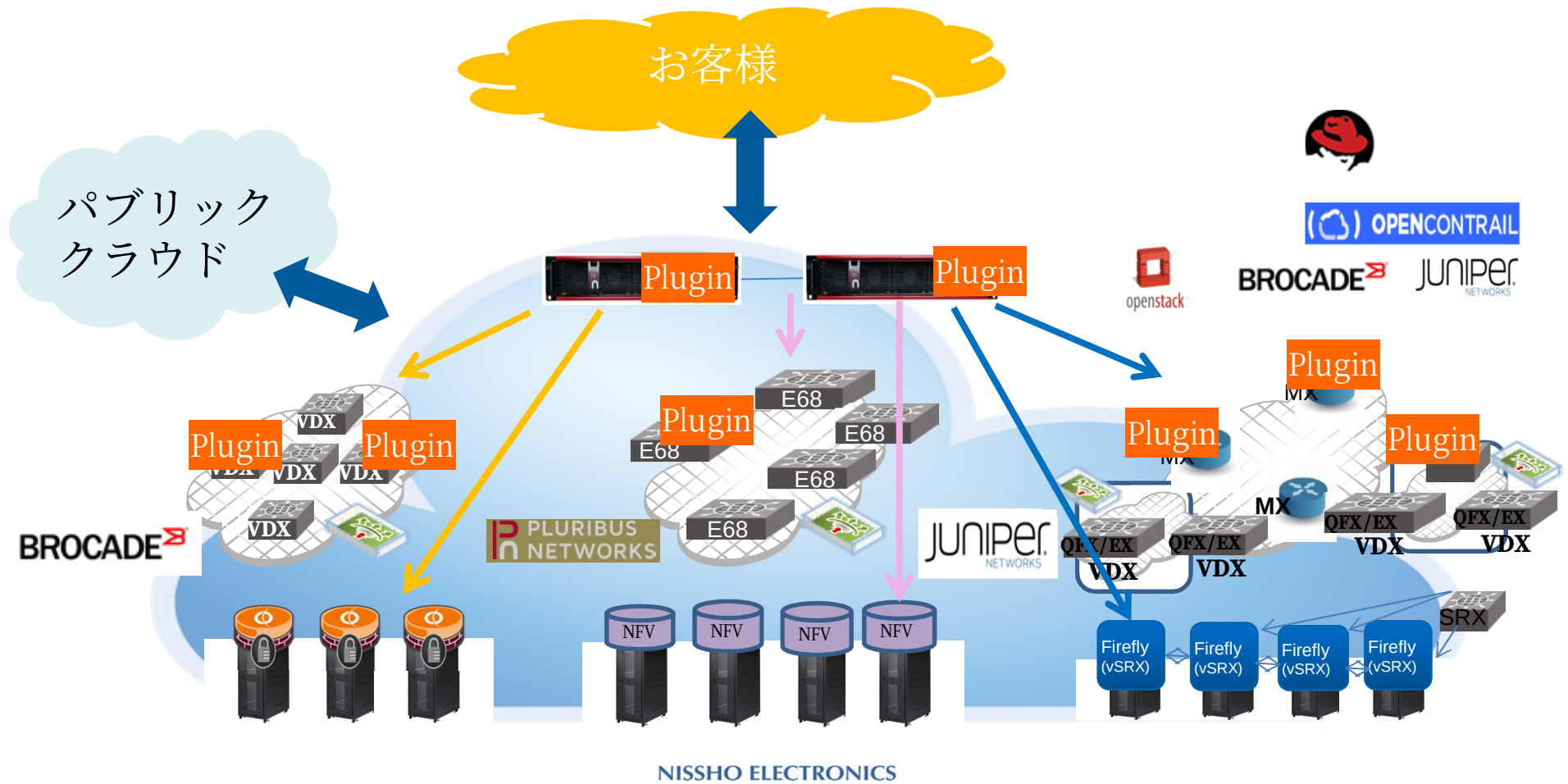
目的に最適なファブリックによる運用コストの削減

オープンスタンドに追随している技術・ベンダーの採用 (OpenStack)



コントローラー連携による運用自動化、一元管理を可能にする技術を採用

業界特化型・特徴のあるクラウド・DC



Nissho Electronics OpenStack POC LABのご案内

～OpenStackとネットワークサービスの現実と将来設計～

Step-1 : ネットワークの抽象化



JUNIPER
NETWORKS

BROCADE



PLURIBUS
NETWORKS

NE
NISSHO
ELECTRONICS

※順次製品メーカーを追加予定



場所



お客様のITソリューションをサポートする日商エレクトロニクスの先進技術サービスセンター内に設置。

検証用機器を設置したPOC（Proof Of Concept）エリアがあり、常に先進技術を取り入れながらソリューションやサービスを構築しています。



OpenStack Neutronではじめるネットワーク抽象化 ～迅速・簡単・強固な IaaS基盤 を構築～



日商エレ x ネットワーク抽象化 によるメリット

ベンダロックイン回避

ネットワーク機器ベンダを意識する必要がありません。

迅速な設計と制御

1 GUIから物理・仮想双方を容易に制御可能です。

仮想システムを支える 強固な物理基盤

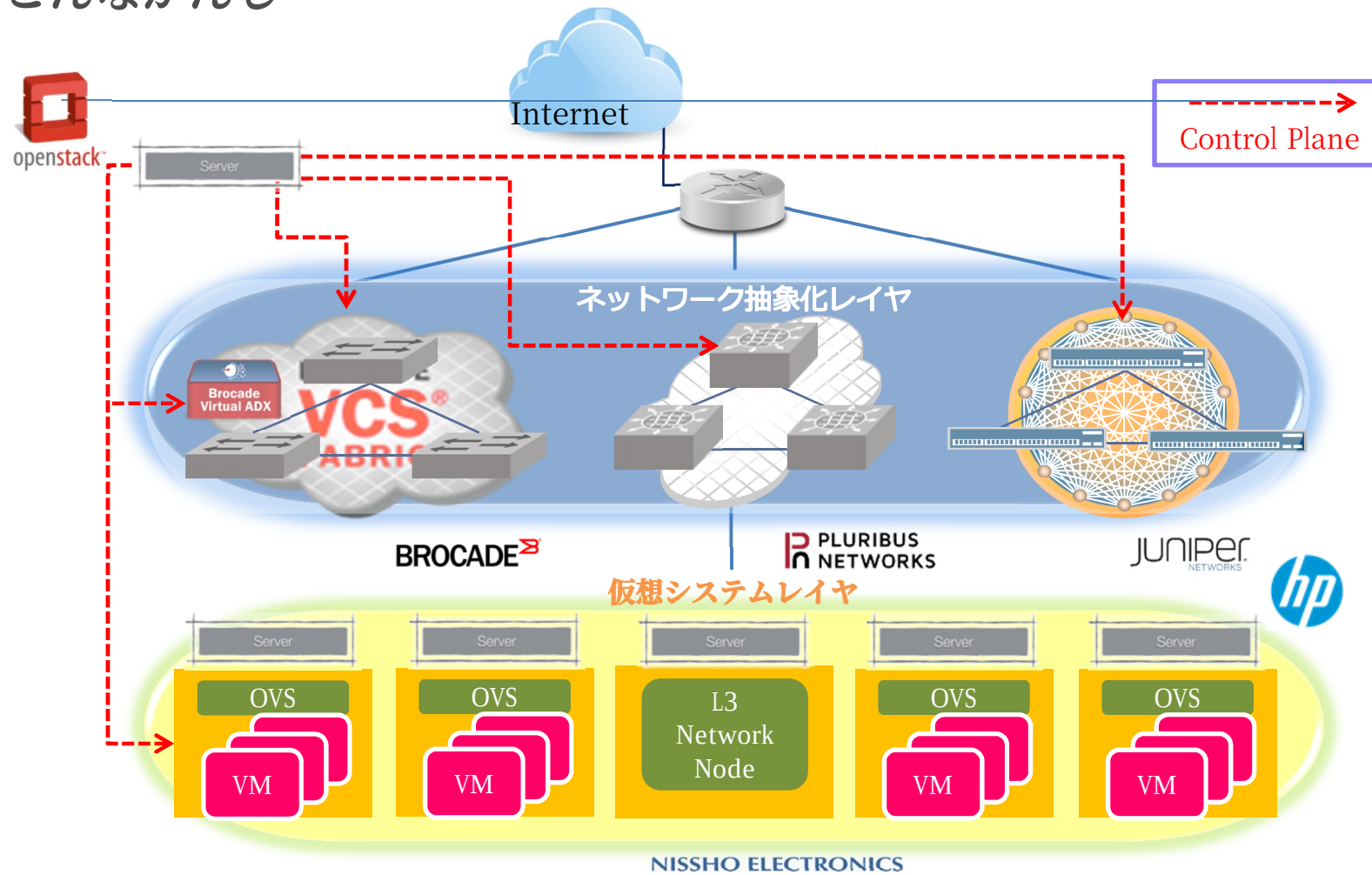
豊富な実績をもつファブリックで 手間いらずかつハイパフォーマンス基盤をご提供します。

Open Stack PoC LAB

「Leading Innovation」
「Change MIND」「Challenge」をコンセプトに皆様を技術的にサポート。

Open Stack PoC LABによる仮設・検証が可能

こんなかんじ



まとめ

1. シンプル設計による高い運用性
2. オープンスタンダード技術を活用した柔軟性
3. 現実解を確かめながら実装するステップアップ

ご清聴頂き有難う御座いました。

 日商エレクトロニクス株式会社
<http://nissho-ele.co.jp>